

国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学医学部附属病院

病院の概要

開設時期 : 平成16年5月20日

開設者 : 国立大学法人東海国立大学機構 機構長 松尾 清一

院長名 : 秋山 治彦

病床数 : 614床

標榜科 : 内科、循環器内科、消化器内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、矯正歯科、小児歯科、麻酔科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科

医師数 : 377名

指導医師数 : 196名（指導医講習会修了者）

外来患者数 : 1,336名／日

入院患者数 : 528名／日

所在地 : 岐阜市柳戸1-1

URL : https://hosp.gifu-u.ac.jp/



病院の特徴

「優れた医学的知識や技術力に加え、共感力と思いやりを備え、専門家として継続的に学び、成長することを望む医師を育成する」の理念のもと、多彩な研修ニーズに対応できる、大学病院の特色を活かしたオーダーメイド研修が可能です。初期研修の期間中でも原則1ヶ月前までであれば診療科の変更が可能です、複数の関連施設での研修も組み込むことができます。

内科及び救急研修については原則1年目ですが最大2ヶ月、2年目において研修することが可能です（なお、救急については、2年目で研修する場合、協力型病院での救急外来研修（ER研修）に替えることもできます）。

詳細はプログラム冊子（ホームページで公開中）をご覧ください。

院長メッセージ



秋山治彦

岐阜大学医学部附属病院は、社会と医療のニーズに応え、患者さんのため全ての病気を安全に、そして安心して治療を受けていただける信頼される病院として発展してきました。

①岐阜県の特定機能病院として高度な医療を提供する病院

②地域医療機関との連携中核病院

③先進医療と臨床研究を推進し、新たな標準治療を創生する病院

④地域と国際的に活躍する医療人の育成を行う病院

⑤働き方改革のもと職員が働きやすい職場環境を整備している病院

を病院作りのランドデザインとして取り組んでいます。岐阜大学病院プログラムでは、研修医の皆さんの教育と育成に対して卒後教育から生涯教育というシームレスな研修体制を、多くの診療科の指導医により取り組んでいます。

基本的初期診療を多くの疾患で習熟するだけでなく、ロボット支援手術や最新の高難度治療を早くから経験できる多彩なプログラムを用意しています。各種ハンズオンセミナー開催、学会参加、海外研修、充実した専門医プログラムなど、一人ひとりの医師として将来のキャリアを見越した充実した多彩な研修を通して、研修医の皆さんの熱意に応えるよう責任を持って全力でサポートいたします。

指導医メッセージ

岐阜大学病院プログラムではあなた自身のニーズに適した初期研修が実現できます。「市中病院と大学病院のいいところ取りなんて本当にできるの?」「診療科の選択自由度が高いって本当?」そういった研修医の要望に応じて、市中病院1年、大学病院1年のたすき掛けコースや、協力病院以外にも保健所、健診センター、献血センターといった保険・医療行政機関も選択できる大学病院2年コースを用意しております。それ以外にも急性期、外科、周産期、地域医療に特化したコースもございます。9か月の選択自由期間は、自分の将来希望する診療科をがっつり回るもよし、周辺の診療科を回っておくもよし、ドクターヘリに乗るもよし！本当に自分の希望する大学内外の診療科・行政機関で研修可能です。

研修する医療機関、診療科の選択肢は圧倒的に多く、きめ細やかな指導を受けられるのは県内唯一ですので、ぜひ岐阜大学病院で研修しましょう。

研修医メッセージ

岐阜大学病院の研修は、本当にフレキシブルで予定を組みかえることも可能です。学生自体は全く考えていなかった公衆衛生分野に進むかも、と思ったときに保健所へ研修に出かけられたのも自由度の高さのおかげでした。

また自分の志望科にあまり関係がなさそうで興味がなかった診療科でも、詳しく丁寧に指導していただき、進路として迷うようになることもありました。

志望科が決まっていなければ非常に多くの診療科を回ることも可能ですし、志望科が決まっていればいち早く志望科でどっぷり研修することや周辺の診療科で研修することも可能です。

「自分の将来は自分で決める！」を体現できるのは岐阜大学病院プログラムでしょう。

研修スケジュール

大学病院は指導医が豊富であることが強みであり、このことは研修スケジュールにおいて柔軟な選択オプションを可能にしました。初期研修の進行中でも、コース内容を途中変更することが可能です。

岐阜大学病院プログラム	6ヶ月			3ヶ月			
	1年次	内科選択		救急	1ヶ月小児科	1ヶ月産婦人科	1ヶ月精神科
	2年次	地域医療	2ヶ月外科	9ヶ月自由科目			

コース1：2年一貫岐阜大学病院で原則研修する。
コース2：1年次を岐阜大学病院で研修し、2年次を協力型臨床研修病院で研修する。
コース3：1年次を協力型臨床研修病院で研修し、2年次を岐阜大学病院で研修する。
コース4：救急や外科に特化した急性期コースや外科医エキスパート養成コースを用意。※外科医エキスパート養成コースでは外科系診療科から研修を開始できる。
コース5：東濃・飛騨出身の地域枠学生に推奨するプログラムで、東濃・飛騨地域の研修病院と岐阜大学病院とのたすきかけ研修が可能。

岐阜大学病院周産期プログラム	6ヶ月			3ヶ月			3ヶ月			
	1年次	内科選択		救急	病院が定める必修科目または自由科目			8ヶ月		
	2年次	地域医療	3ヶ月周産期	小児科	産婦人科	精神科	病院が定める必修科目または自由科目			

岐阜大学病院地域医療重点プログラム	6ヶ月			3ヶ月			3ヶ月			
	1年次	内科選択		救急	病院が定める必修科目または自由科目			9ヶ月		
	2年次	3ヶ月地域医療		小児科	産婦人科	精神科	病院が定める必修科目または自由科目			

全てのプログラムにおいて、分野により協力型病院、協力施設で研修を希望する場合は、岐阜大学病院における研修が1年以上確保できることを前提に可能。岐阜大学病院プログラムのコース1、コース4、周産期プログラムに限り、臨床研修2年目からの大学院進学を認める。病院が定める必修科目：外科1（心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科）から4週単位で1科目、外科2（外科1で選択した外科以外の、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科から4週単位で1科目、または、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、皮膚科、泌尿器科から2週単位で2科目または4週単位で1科目）を必修とする。

研修協力病院・施設

協力型研修病院	岐阜県総合医療センター	岐阜市市民病院	社会医療法人蘇厚生会松波総合病院	県立下呂温泉病院	岐阜赤十字病院
厚生連久美愛厚生病院	中部国際医療センター	厚生連中濃厚生病院	医療法人社団志聖会犬山中央病院	羽島市市民病院	厚生連岐阜北厚生病院
朝日大学病院	医療法人香徳会関中央病院	高山赤十字病院	国立病院機構長良医療センター	郡上市市民病院	一宮市立市民病院
慈恵中央病院	彦根市立病院	美濃市立美濃病院	大垣市市民病院	愛知県がんセンター中央病院	厚生連揖斐厚生病院
総合大雄会病院	大雄会第一病院	東海中央病院	大垣徳洲会病院	国立病院機構豊橋医療センター	厚生連西美濃厚生病院
岐阜県立多治見病院	総合病院中津川市市民病院	土岐市立総合病院	厚生連東濃厚生病院	一宮西病院	みどり病院
公立陶生病院	多治見市民病院	岩手県立磐井病院			
協力施設	一般社団法人ぎふ総合健診センター	岐阜県赤十字血液センター	岐阜市保健所	社団医療法人かため会山内ホスピタル	岐阜県飛騨保健所
岐阜県岐阜保健所	岐阜県関保健所	岐阜県可茂保健所	岐阜県恵那保健所	岐阜県東濃保健所	社会医療法人白鳳会鷺見病院
岐阜県西濃保健所	特定医療法人録三会太田病院	県北西部地域医療センター国保和良診療所	市立恵那病院	国民健康保険上矢作病院	中津川市国民健康保険坂下診療所
下呂市立金山病院	岩砂診療所、岩砂マタニティ	国民健康保険飛騨市市民病院	総合在宅医療クリニック	岩手県立千歳病院	揖斐郡北西部地域医療センター
滝谷医院	てらしまクリニック	下呂市立小坂診療所	東白川村国保診療所	久々野診療所	庄川診療所
清見診療所	朝日診療所	医療法人和光会山田病院	岐阜ハートセンター	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	谷汲中央診療所
シティータワー診療所	沼口医院	あんどう内科クリニック	県北西部地域医療センター高鷲診療所	高根診療所	白川病院

後期研修・専門研修（予定）

新・専門医制度に関しては、19の基本領域で基幹施設となります。新制度では専門医資格取得に必要な症例のうち、一定数を初期研修時に経験した症例を充てることができます。そのため、初期研修から専門医研修へのスムーズな移行は、専門医資格取得のためには重要です。

「早く・確実」に専門医、指導医、サブスペシャリティを取得したい場合、「シームレス」な大学病院の研修が有利です。

	岐阜大学病院専門研修プログラム																			(令和5年度参考)
専門領域	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	形成外科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	川びりっしょ	総合診療	
定員	25	13	9	10	21	6	20	4	5	2	7	8	9	10	4	1	8	2	4	

研修プログラムの目標

岐阜大学病院プログラム

必修科選択により先ずプライマリケアに関する研修の到達目標をクリアし、指導医評価を行う。次いで希望する診療科を自由選択して専門性の向上を図り、専門研修プログラムに前倒し的にリンクさせる。希望者を対象として初年度から専門医の取得を目指した平行型の研修をプロトコルに従い実践する。

岐阜大学病院周産期プログラム

周産期に特化しているが、プライマリケアに関する研修到達目標を先ずクリアすることを条件とする。次いで、地域医療も含ました幅広い周産期と新生児期ケアを中心とした研修を行い、関連病院への派遣研修も含んだNICU研修を実践する。

岐阜大学病院地域医療重点プログラム

必修科選択により先ずプライマリケアに関する研修の到達目標をクリアし、指導医評価を行う。次いで希望する診療科を自由選択して専門性の向上を図り、専門研修プログラムに前倒し的にリンクさせる。希望者を対象として初年度から専門医の取得を目指した平行型の研修をプロトコルに従い実践する。

募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：岐阜大学病院プログラム 27名
岐阜大学地域医療重点プログラム 3名
岐阜大学病院周産期プログラム 4名

※詳細は医師育成推進センターHPよりご確認ください。

身分：非常勤職員

給与：与：月額約30万円(時間外手当、夜間診療業務手当(15,000円/回)、通勤手当含む)、別途研修奨励手当(60,000円/月)
※協力病院採用の期間は、協力病院の処遇による。

住居等：研修医宿舍 有

保険等：医師賠償責任保険：病院において加入、任意で個人加入
文部科学省共済組合・厚生年金・雇用保険・労災保険

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 医師育成推進センター

電話番号：059-230-6048

fax：059-230-7172

E-mail：sotsugo@t.gifu-u.ac.jp

ホームページ：https://hosp.gifu-u.ac.jp/cct/



医師育成推進センター案内



専門研修プログラム案内

交通案内



JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から「岐阜大学病院（C70）」もしくは（N45）」行バスで約40分（直行便 C72約30分）車で約20分